



社会福祉法人江東楓の会 編集責任者 理事長 伊藤 善彦
発行所 江東区東陽4-8-10 202号室 TEL 5617-3750 FAX 5617-3752

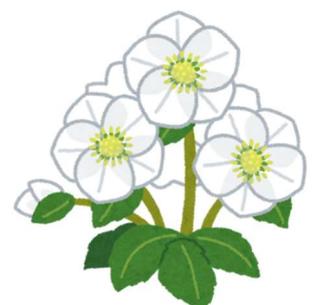
副理事長あいさつ

社会福祉法人江東楓の会 副理事長 宮内 洋

気付いたら師走となり今年も終わりを迎えようとしています。賛助会員の皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

ここ数年、異常気象と言われた暑い夏から、秋を感じないまま冬に入ることが当たり前になってきたと感じたのは私だけではないと思います。本紙が出る頃には、法人内通所施設の目玉行事である宿泊旅行も終わっていることと思います。今までは9月に行っていた宿泊旅行も、いつまでも続く夏の暑さで旅行を楽しむどころではなくなり、年を追う毎に10、11月と後ろ倒しにしたことでようやく旅行を楽しめるようになりました。また、今年の宿泊旅行は円安によるインバウンド需要による価格高騰を肌で感じる旅行ともなりました。観光バス・ホテルは勿論のこと、観光先での昼食代も値上がり、今までの予算では到底利用できなくなり、予算の見直しの必要性も生じている状況です。とはいえ宿泊旅行は、利用者さんの普段見ることのできない生活の一面を垣間見る大切な機会でもあり、同時に支援の糸口をつかむきっかけにもなる大切な場と考えます。旅行の楽しみとともに利用者さんの普段とは異なる一面を知る大切な宿泊旅行の機会が継続できるよう、法人としても取り組んでいきたいと改めて感じた宿泊旅行でした。

年末となり感染症が猛威を振るう時期となりました。健康には留意されご自愛いただき良い年をお迎えください。



第 56 回会報は、『①最近ちょっとうれしかったこと、②私たちが目指していること、③おすすめおでかけスポット、④私たちのリフレッシュ方法』のいずれかをテーマに掲載しております。

「地域に広めよう！つばさの職人芸！」

ワークセンターつばさ 支援員 八木 友香

ワークセンターつばさはご存じの通り、おせんべいを焼いて販売しています。そんな中一本の電話が入ったのが昨年。「うちでおせんべいを焼いてくれませんか」と、亀戸天神の近くの老舗お煎餅屋さんからお仕事をいただきました。

そこからのご縁で、昔ながらの地域密着型の煎餅屋さんの店先で利用者さんと一緒にせんべいを焼いています。「おせんべ、おせんべ、焼けたかな」と歌いながら頑張っている（このタイミングがちょうど良い焼き色になるんです！）

店先で焼くのでお散歩中の保育園の子供たちから、「すごい」と声を掛けられ手を振られたり、私たちを見て焼きたての煎餅を買いに来てくれるお客さんもいたりします。つばさの職員以外との関わりや、地域の方たちからの温かい視線をいただくことが、利用者さんの自信に繋がっています。頼りにされることで利用者さんが輝く様子を見るのがうれしいです。

そんな中、最近特にうれしかったことがありました。「〇〇さんはいつもにこにこ、前向きに仕事を頑張ってくれる。来てくれるだけで明るくなる。励まされる。」と店主の方が利用者さんを褒めてくれました。

つばさで何年もこつこつ頑張っている培った煎餅焼の職人芸、そして彼自身の人柄が認められたことがうれしかったです。これからも地域と利用者の架け橋となれるような職員を目指していきます。また、コロナ開けから煎餅の販路も広がっている中、みんなが作る煎餅を介して地域ともっと関われたらいいなとも思います。

亀戸に来たら是非亀戸天神近くのお煎餅屋さんへ寄ってみてくださいね！

「元気のバロメーター」

若竹作業所 事務主任 山崎 結子

「は～おなかすいた」何気なく口にした言葉に、「お腹がすくってすばらしいよ、健康な証拠！」と返してくれた義理姉。あ、自分は今、健康なんだ。確かに！具合が悪い時に食欲はないな、と当たり前のことをしみじみと考えてしまいました。

食糧の大切さを身に染みて感じる今日この頃です。健康が当たり前だった20代、30代。最近では体調を崩す事が多く、そのたびに健康である日々がいかに大切か実感しています。先日さくらの宿泊に初めて参加しましたが、みなさん高齢なのに元気元気。こちらが圧倒されてしまうほど。なぜこんなに元気なのか？とにやみにやみ笑い、良く食べる。朝からごはんをおかわりして、こんにやくパークで試食してお昼ご飯。笑うことと食べることは長寿の秘訣と言われますが、その通り。目の当たりにするとぐうの音も出ません。

「おなかすいた～」といった時には、「元気ですね、健康な証拠ですよ」と返答するようにしています。私の中で「おなかすいた」は元気のバロメーターです。

食欲と健康の話になってしまいましたが、このたわいもない独り言を前向きな気持ちにしてくれる褒めことばで返す言葉、妙にちょっとうれしい気持ちになった最近のできごとでした。

「ボランティアっていいものですね」

第三あすなろ作業所

支援員 蕪鉄 元気 クルニア

とある利用者さんのお母さんがいる。その人と僕は仲がよく、家族会のときには僕が利用者さんよりもボーリングが下手だという話で大笑いなさっていた。その人と先日、ボランティアで参加したあすなろ作業所のレインボーフェスタでばったりと再会した。第三に異動になってからはかかわりがなかったので、それだけで嬉しかった。するとそこに、レインボーフェスタに遊びに来た僕の妻がやってきた。可愛い可愛い愛する妻だ。妻を紹介すると、その人はとてもびっくりした様子で、「もっと早く紹介してよ！」と嬉しそうになさっていた。そのとき僕は驚いた。ただ僕の話をしただけなのに、こんなに喜んでくれるなんて。レインボーフェスタにはたくさんの方がいた。久しぶりに会うあすなろの人、馴染みのある第三の人。僕はその日、多くの人に笑顔をもたらした。きっと、利用者さんやご家族に必要なのは、ただの情報や業務のやりとりだけではない。もっと温かい。人と人との心のやり取りが必要なんじゃないか。ボランティアひとつとっても、ただ業務をこなすだけでは、僕の笑顔も、あのお母さんの笑顔も生まれなかった。正確に業務のみをこなす支援、無駄に思えるかもしれないけれど笑顔が生まれる支援。どちらが正しいかはまだ分からないけれど、僕はみんなの笑顔がみたい。心と心を繋ぐ温かい支援がしたい、と、強く思った日だった。



「元気があれば何でもできる」

高齢障害者通所施設さくら

看護師 神内 梓

楓の会に入職して、早いもので10年が経ちました。入った頃に保護者の方に「私たちはね、子どもが毎日、元気に通所してくれて、笑顔で帰ってきたら、それだけで嬉しいのよ」と言われたことを日々、考えながら仕事をしています。看護師という立場柄、施設で感染症が流行しないか、今日の利用者の体調はどうか、いつもより元気がないのではないか、寝不足なのか、風邪の引き始めなのか、発作はないのか常に気にするようにはしていますが、ここ数年で感じるのは“健康”でいることの難しさとありがたさです。

さくらでは、毎年年初に「新年の抱負」を利用者・職員ともに記載し、1年間掲示しています。年々「けんこうでいきたいです」「健康でがんばる」「毎日さくらにくる」などの内容が増えてくると、利用者さんも加齢とともに健康に不安が出てきているのかと感じてきます。さくらは毎朝、20分のストレッチとラジオ体操、昼には15分の筋トレをし、週に1度は午後に1コマ体操の時間を設けています。利用者さんは「大変だ」「ツライ」と言いながらも一生懸命参加してくれており、その甲斐あって、5年ぶりに宿泊旅行に行くことが出来ました。長期休みの方を除いて全員が参加出来たのは、皆さんが元気でいてくれたからだをつくづく感じます。「旅行楽しかったね」「また行きたいね」という利用者さんの言葉が実現できるように、これからも元気な体作りを利用者さんと頑張っていきたいです。

「感謝していること」

江東区あすなろ作業所 相談支援専門員 小宮 聡子

夏の暑さが年々つらくなり、夏が終わって秋、冬になってもいつまでも温かい日が続いていましたが、ようやく本格的な寒さを感じるようになりました。私は毎年冬になると、「寒いってこんな感覚だったな」と思い出すようにすっかり忘れてしまいます。

さて、あすなろ作業所には行事や日々の作業をサポートしてくれる地域のボランティアさんが活動してくださっています。利用者さんと一緒に作業をしたり、作業の検品を手伝ってもらったりとありがたい存在です。また、お祭りや外出行事、宿泊旅行も沢山のボランティアさんにお手伝いして頂いています。利用者さんにとっては、職員とは違う存在で自主生産の雑巾の刺繍を教えてもらったり、テレビの話をしたりとよい関係を築いています。様々な年齢や職業、経験をお持ちのボランティアさんと関わり、話すことは利用者さんにとってだけではなく、職員にとっても大変刺激になっています。ボランティアさんの関わり方や姿勢から発見することや学ぶことも多くあり、とかく閉鎖的になりがちな施設には貴重な存在です。忘れっぽいのですが、コロナ禍、こういった関わり方が一気になくなり施設内だけで完結せざるを得ない状況だったことを思い出し、今後も感謝したいと思っています。

「リバーハウス東砂の休日のご紹介♪」

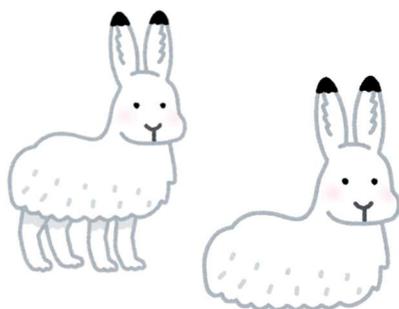
江東区リバーハウス東砂 支援員 橋本 知佳

今回は皆さまがなかなか知る機会の少ない、リバーハウス東砂の休日の一部をご紹介します♪

休日は帰宅せずにリバーハウス東砂で過ごす方や、短期入所、緊急一時利用で利用されている方がいらっしゃいます。自室で好きな映画やドラマやアニメを観て、ゆっくりとしたリラックスタイムを過ごされたり、施設の目の前にある荒川の土手を散歩して、爽やかな風と川に癒される時間を過ごしたり、ご利用者発案のカラオケ大会で笑顔あふれる時間を過ごしたりしています！

最近、個人的に印象に残っている日のひとコマとしては、グループホーム、短期入所の利用者合同で行った人生ゲーム大会です。「次は〇〇さんの順番だよ！」など声を掛け合って進めたり、誰かが大金をもらえるマスに止まると、皆で拍手をして「おめでとー！」と祝福したりと素敵な交流会となりました。職員体制などの関係から、毎回この様な時間を提供出来るわけではありませんが、リバーハウス東砂ではご利用者の希望に沿った時間の提供が出来るよう、工夫した支援を心掛けております。

以上がリバーハウス東砂の休日のご紹介となります♪ご利用者の方々が過ごされる休日の様子が少しでも伝われば幸いです。



「ヘルパーセンターのおすすめ」

楓の会ヘルパーセンター

支援員 萩原 洋

日に日に寒さが増して、本格的な冬を迎えています。辺りはすっかり年末モードとなりました。

さて、当楓の会ヘルパーセンターは、お出かけのプロフェッショナルと言っても過言ではない事業所と自負しています。

そんなプロ(?)がおすすめするお出かけスポットは・・・

まず定番として、越谷レイクタウンやイオンモール幕張新都心があります。

その理由は、なんと言っても敷地の広さと建物の大きさ。利用者が好きなだけ歩いても、回り切れない広さと選び放題の飲食店。誰もが楽しめる充実した施設がたくさんあることです。

中でもイオンモール幕張新都心の *t o n d e m i* は特におすすめです。この施設は、子供から大人まで楽しめるアクティビティーがあり、心も体も満足できる場所です。ただし、こちらの施設は、事前の会員登録が必要で有料になります。会員登録は簡単で、私も利用者といったことがあります。また、利用時間も指定となりますので、利用される際はご確認を!!

そして、もう一つのおすすめは・・・

大田市場のすぐ隣にある、東京港野鳥公園です。こちらは知る人ぞ知る場所で、自然豊かな空間で散策が楽しめる場所となっています。

この公園は東京湾に近く、干潮時には干潟の観察もできるので、時間を合わせて行って見ては如何でしょうか。私も実際に干潟を観察してタヌキの足跡やカニを見つけました。

「調べてすっきりリフレッシュ」

江東区亀戸福祉園

事務主任 山岡 正広

私の趣味とリフレッシュ方法の一つに旅行があります。一人でふらりとあちこち出かけて行ってしまいます。旅先で歴史的な建物・雄大な自然・おいしい食べ物に心を動かされ、心身ともに充電し日常生活に戻ってきます。ところが困った事に旅行先で何か気になることがあると、それを調べないとすっきりできなくなってしまうのです。昔「トリビアの泉」というテレビ番組がありました。私の中で「へえ」が達成されないとリフレッシュしきれないのです。私が調べた知識をご紹介します。(なおここで紹介する知識に誤りがあっても責任は負いかねます)

① サグラダファミリア 建設に着手してから140年あまり経つのに未だに完成せず完成の前から修復工事をしています。いつ出来上がるのでしょうか?永久に完成しないのでは?中には冗談半分でラテンの国はおおらかですねと感想を持たれる方もいるようで・・・実は教会の建設費はすべて寄付と入場料収入であり、なかなか予算的に厳しいようです。そしてスペインは政教分離しているので、国家予算や州予算を特定の宗教に充てることはできないようです。

② ウルル 私は「世界の中心で愛を叫ぶ」を見てウルルを見に行きました。ひと昔?ふた昔前までは「エアーズロック」という呼び方が日本では一般的でした。オーストラリアの先住民の言葉では「ウルル」であり、現在では「ウルル」が一般的な呼び方になっています。さて「ウルル」とはどんな意味なのか・・・ウルルは固有名詞であり言葉自体には特に意味は無いようです。エアーズロックは後にイギリス人が付けた名前なのですがどのような意味が

あるのでしょうか？広大な大地にポツンとある巨大な一枚岩、「大地と大気」の関係でエアリーなのかな・・・正解は英国人探検隊が発見した当時のオーストラリア総督「サー・ヘンリー・エアーズ」の名前から取ったそうです。

わかってしまえば何てことはないのですが、調べる課程が楽しかったり、もやもやがすっきりした時のリフレッシュ感はなかなか爽快です。

「“今年” “とっても” うれしかったこと」

共同生活援助かえで 管理者 仲俣 圭

前回の会報でお伝えしましたように、昨年度後半に東京都共同募金会様を通じて、三菱電機株式会社様より社内募金で集まった資金により、エアコン2台とIHコンロ2台の交換設置のために使わせていただきました。日々の調理にIHコンロが大活躍しているのは勿論のこと、今年の猛暑・酷暑に負けることなくエアコンも大活躍いたしました。これからの寒い季節になりますが、夏季同様乗り切っていくことと思えます。

そして、7月には三菱電機株式会社様、東京都共同募金会様と贈呈式を行いました。

関係者の皆さま、お忙しい中参列いただきましてありがとうございます。いただきましたエアコンやIHコンロは大切に使わせていただきます。



2024年のカレンダーも残すところあと1枚になりました。しみじみ今年を振り返る間もなく、2025年のカレンダーを用意し着々と来年の予定が埋まっていきます。世の中の的にはいろいろな出来事があったかと思いますが、グループホームかえでとしてはそれほど大事はおきず、それなりに利用者全員（世話人スタッフも）元気で新年を迎えられそうです。

今年もまた多くの皆さまのご理解ご協力をいただき、過ごせてまいりました。支えて下さった皆様、本当にありがとうございました。また新しい年もかわらぬご支援を賜りたく思います。

編集後記

会員みなさまには、日頃より当法人の運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

私のうれしかったこと。十数年住んだおうちをとうとう引っ越し、念願の断捨離をしました！事後ですが、「断捨離とは、自分が溜め込んできたものと向き合い、本当に必要かどうかを問いかける作業。自分にとって本当に大切にしたいものや重要なものを見つけ、過去の気持ちを整理できる」というコメントを目にしました。遑って二年使っていないものは、ありがとうそしてさようならを告げるルールで片づけましたが、どうしても手放せなかったものたちはそういうことなのかもしれない、これからも大切しようと決めました。自分以外には必要ないと言われてしまいそうなもの、でもそれは自分にとって唯一無二。それに気づけたこともまたうれしかった出来事ですね。うれしい気持ちになることは、まわりに自然と心地よい空気を作り出すと私は思っています。うれしいがたくさんある毎日を、みなさまと一緒に過ごしていきたいですね (*^-^*)



令和6年度 後援会会員名簿

<賛助会員> (第55号からつづく)

青木 知子	臼倉 幸夫	小宮 聡子	津田 裕太郎	星野 麻由美
会田 直子	宇田川 知幸	齋藤 麻美	土屋 佳代	星屋 真理子
明石 真理子	梅内 千佳夫	齋藤 沙友里	積田 礼子	本間 一洋
赤津 正徳	梅澤 崇	斉藤 誠	東條 治子	松崎 泰典
赤塚 美知子	浦部 友宏	齋藤 優恵	得重 純子	松渕 秀美
秋田 かおり	エゼンバ 織沙	三枝 伸	得重 博史	松村 清次
秋庭 敏宏	遠藤 仁美	坂 通代	戸田 明宏	丸山 裕輔
阿久津 剛	及川 英子	榊 勝一	戸松 和恵	三上 友芽
阿部 くるみ	大須賀 宣恵	坂詰 真里	富田 眞	神子澤 尚子
阿部 勝	大砂 しづ子	坂本 夢来	富田 充紀	神子澤 奈月
網野 開斗	大西 潤	佐久間 勉	内藤 捷子	水島 聖子
新井 康介	大野 誉仁	櫻井 綾子	中川 健造	水谷 のぶ子
新井 由美	大野 真実	桜井 千鶴子	中島 清美	水野 富一郎
荒木 智帆	岡倉 守男	佐々木 緑	中島 増夫	峯尾 豪
有馬 明美	岡崎 吉泰	佐藤 えりか	永島 真由美	三村 孝二
安藤 修	奥田 千香子	佐藤 奈津子	長瀬 亮一	宮内 洋
安藤 さゆり	奥野 太一	佐藤 史仁	仲宗根 浩介	宮岡 友美
安藤 弘之	小倉 成子	佐藤 充宏	永田 奈津子	宗 久美子
猪狩 健治	小田 一枝	澤村 幸治	中野 健一	宗 菜摘
池田 顕思郎	小高 郁乃	塩田 峰子	中野 早央里	村井 京子
池山 遼一	尾戸 千尋	志賀 慶太	仲俣 圭	村上 龍
伊佐 剛	小野寺 千賀	鹿間 勝	中邨 敏子	村佐 弘美
井沢 元樹	小原 直人	茂野 勝信	中村 夢夏	百田 美帆

石井 梨乃	掛川 善至	品田 友香	中山 晴貴	森 幸子
石井 君代	陰山 香苗	柴原 弘子	夏梅 幸子	森田 純一郎
石井 恵子	笠原 正寛	清水 大稀	夏梅 照子	谷貝 駿太
石井 潤一朗	片上 友美	白井 千尋	成田 由美子	八木 友香
石井 潤子	片桐 謙一	白石 昇	新田 好子	矢倉 大雅
石川 信彦	片桐 湖生	新舗 文彦	楡井 加梨	八ッ繁 匡生
石川 瞳	片野 清	菅谷 栄二	沼尾 麻美	山内 文雄
石田 強史	加藤 リツ子	菅原 秀人	沼田 雅晴	山岡 正広
石田 知子	金井 正夫	杉本 佑生	橋本 知佳	山上 健太
石田 誠	金井 友香	杉山 廣子	橋本 春美	山口 彩
石村 哲郎	神 貴之	鈴木 淳美	長谷 雅子	山口 益弘
石山 智恵	神元 直樹	鈴木 香希	長谷川 俊	山崎 護
和泉 佑佳	川口 晃洋	鈴木 正典	長谷川 貴男	山崎 結子
磯本 広樹	川澄 花代	仙名 久美子	埴谷 孝行	山田 修司
伊藤 可南子	川端 美喜雄	蘓鉄 元気 クルニア	濱谷 美幸	山田 康弘
伊藤 乾介	菊地 賢志	高月 のぞみ	早川 久美子	山中 修司
伊藤 小夜子	菊池 太郎	高梨 麻子	林 毅彦	山本 伸一
伊藤 隆行	岸本 大輔	高橋 絵里	原 隆典	山本 広人
伊藤 善彦	北川 晋也	高橋 久美子	原 未来	山本 将大
伊藤 涼子	北原 正晴	高橋 秀一郎	原 優子	横山 初子
乾 沙織	木村 望	高橋 淳子	針ヶ谷 清子	米川 直輝
井上 貴史	工藤 紀之	高橋 真理子	半田 力也	若井 一郎
今井 達也	工藤 利佳	高橋 愛美	樋熊 和美	若松 忠義
今井 千夏	国本 倉一	武田 俊彦	平栗 聖也	若山 真人
入江 雅之	熊倉 歳之	武田 昌和	平野 哲也	脇田 歩
岩崎 翔純	倉田 久美	竹田 祐樹	平山 史弥	脇田 芳子
岩橋 稔	栗原 聖斗	辰巳 普	廣瀬 真衣	渡邊 恭史
岩間 頌子	小桜 勲	田中 信一郎	福家 美奈子	渡部 博信
上田 晃	小玉 睦子	近重 凜太郎	藤野 翼	亘 則光
上野 順子	小林 恵美里	千葉 裕子	古河 宏太郎	
宇佐美 友恵	小林 志郎	全 真和	古河 大輔	
白杵 宏子	小林 裕一	全 将貴	文屋 美佐子	

(敬称略、順不同)

(なお、令和 6 年 12 月 10 日以降 賛助会員は次号につづく)

ご寄付

ご寄付を賜り誠にありがとうございました

○ 匿名希望 2 名

ご寄付いただいたものは、法人の事業に使わせて頂いております